

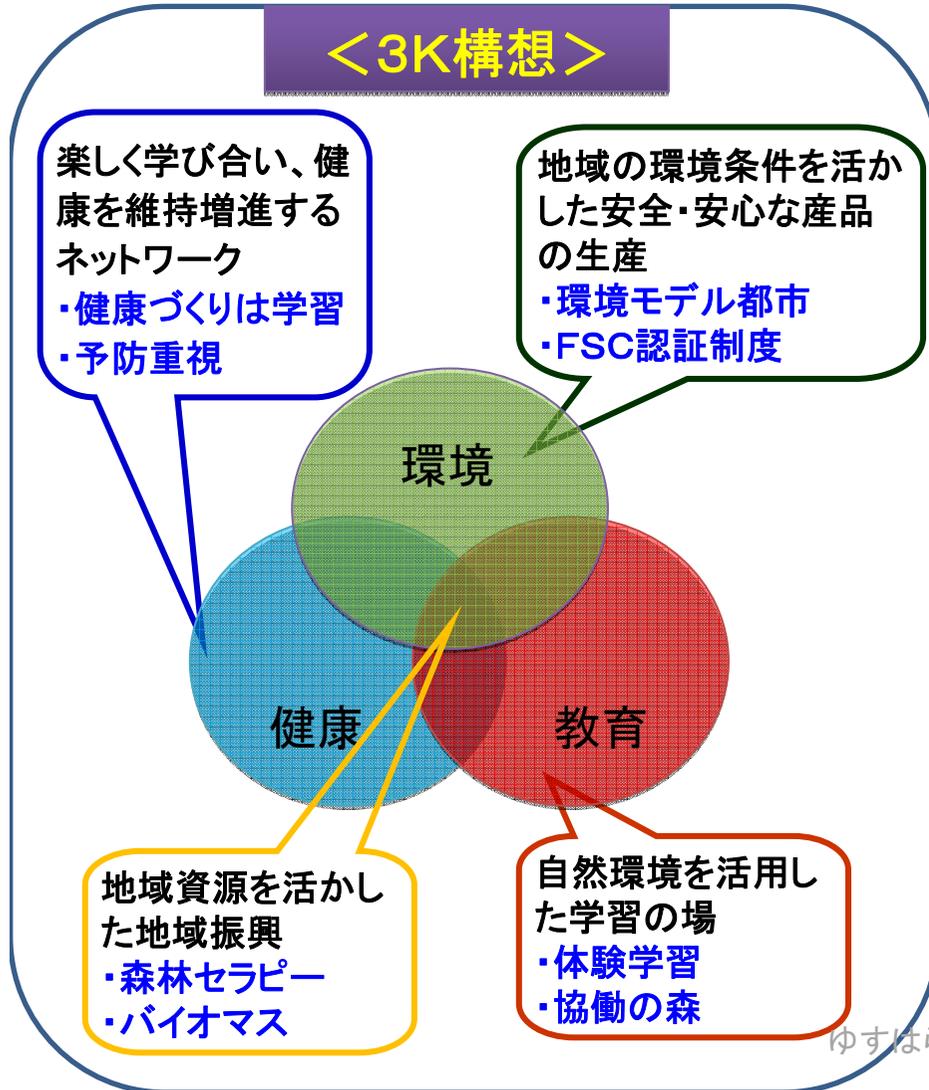
# 生物多様性保全に向けた取組について

高知県檮原町長  
中越 武義

# 梶原町の地域づくり

## 森と水の文化構想 <3K構想>

21世紀への基本理念を、先人の知恵に学び自然と共に、共生と循環の社会を実現するため、環境・健康・教育として、住民と共に笑顔あふれる街づくりをめざす。



循環と共生のまちづくりを目指して  
四万十川の源流の地で「山の民」として  
山を愛し、水を慕い  
自然を活かし生きるために・・・。

自然との共生を高める

- ・自然の魅力を高める
- ・人と自然との融合めざす
- ・自然を活かす

循環型社会をめざす

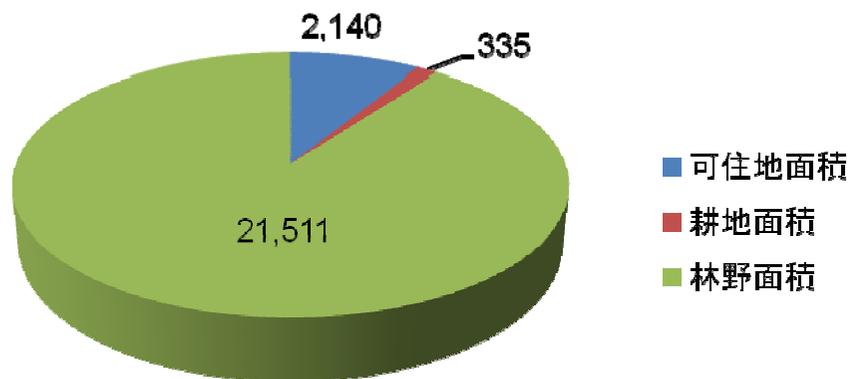
- ・資源の循環を考える
- ・循環の思想を広める
- ・経済の循環を考える

- 森林セラピー
- 手杖田オーナー制度
- 鎮守の森づくり条例
- 自然エネルギーの利用促進

- 森林づくり基本条例
- 地産地消運動の展開
- 木質バイオマス地域循環モデル事業プロジェクト

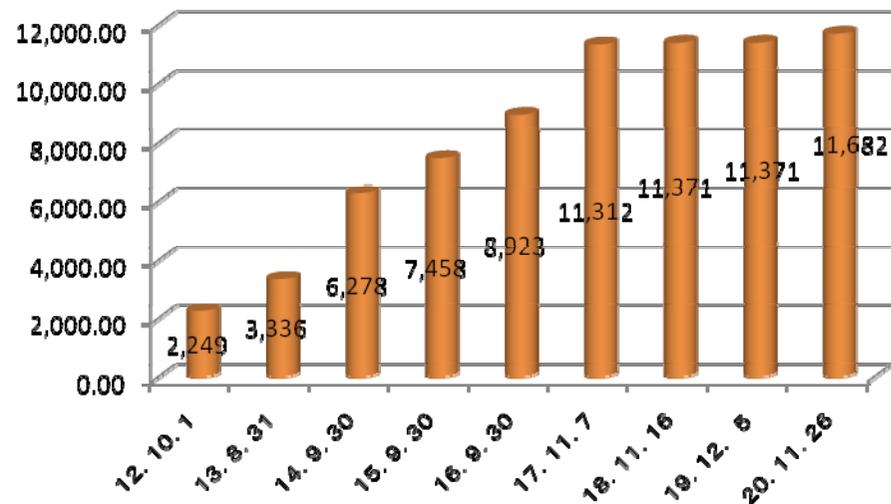
# 梶原町の森林

## 梶原町の土地構成(ha)



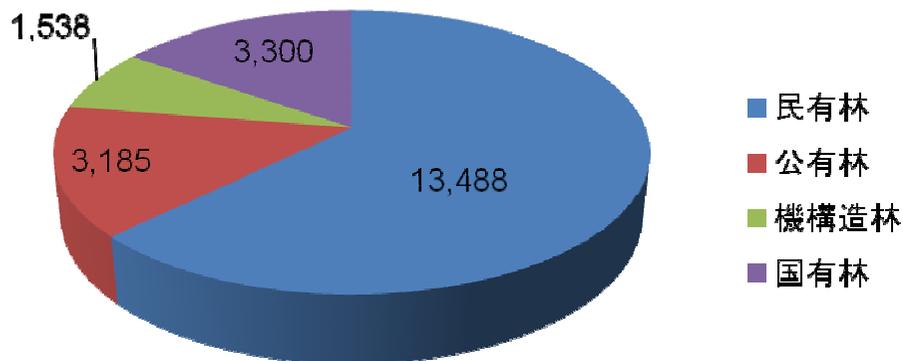
出典: 2005年農林業センサス

## 森林認証加入森林面積(ha)



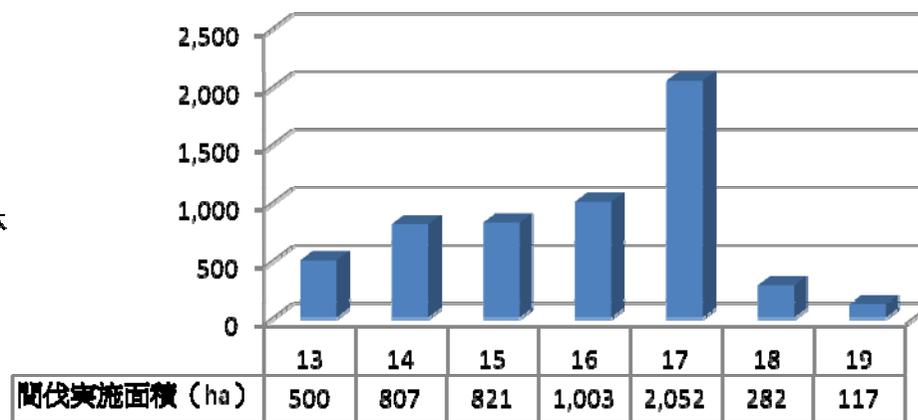
出典: 梶原町森林組合調べ

## 梶原町の所有別森林



出典: 2005年農林業センサス

## 間伐実施面積(ha)



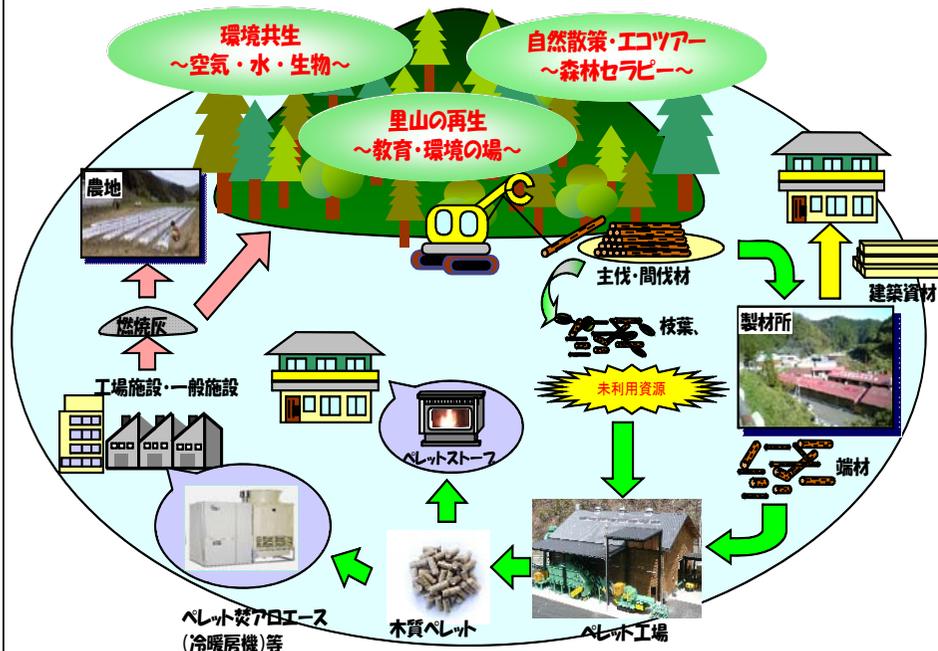
出典: 梶原町調べ  
13-19年度までの間伐面積 5,583ha。要間伐面積(約8,600ha)の65%が実施済み

# 環境モデル都市の取組(栲原町)

- ・概要: 人口約4,600人、総面積237km<sup>2</sup>。
- ・公民協働による木質バイオマス地域循環モデル事業の実施。
- ・温室効果ガス排出量を2030年に50%、2050年に70%削減、吸収量を2030年に3.5倍、2050年に4.3倍増(1990年比)。
- ・循環モデル事業の実施による山村型低炭素社会の実現と地域資源利用によるエネルギー自給率100%超を目指す。

## 木質バイオマス地域循環モデル事業プロジェクト

- 公民協働による木質バイオマス地域循環モデル事業の事業収入や国内クレジット等での資金確保による森林整備を軸として、未利用間伐材や端材などを活用したペレット利用によるCO<sub>2</sub>の吸収と削減により、山村型低炭素社会を実現する。
- 社会的・経済的・環境的に適切な管理によりFSC森林認証(森林管理の国際的な認証)を取得。それによって木材に経済的価値が付加されることにより、住宅産業が発展。



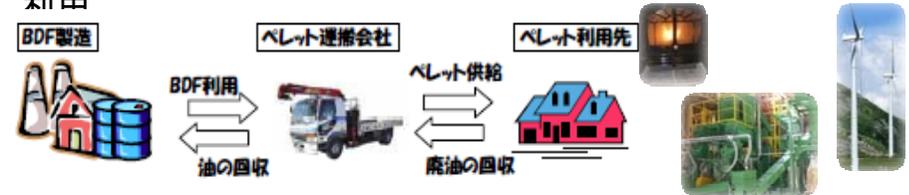
## CO<sub>2</sub>森林吸収プロジェクト

- 確実な森林施業と作業の効率化  
四万十川の源流域に位置する栲原町の役割として、水や森林を守り森林の公益的な機能発揮する森林づくりを行う(財源に風力発電の売電収入を活用)。
- 県、町、企業、団体との「環境先進企業との協働の森づくり」事業の維持・拡大。
- 国内クレジットの取組みを活用し資金確保。



## CO<sub>2</sub>削減プロジェクト

- 小水力発電(53kw)、太陽光発電(2,393kw)、風力発電施設(41,200kw)の積極的な整備により、産業、業務、家庭部門におけるエネルギー自給率100%を目指す。
- 四万十川流域市町でのペレット消費機器の普及や循環モデル事業の水平展開により、低炭素かつエコロジーな農作物生産と地域活力創出。
- 廃食油を回収しBDFを生産し、ごみ収集車やペレット運搬に利用



## 人・仕組みづくりプロジェクト

- 年代を超えた人材の育成と、都市との交流・連携による地域活力の創出、森林セラピー等の環境産業の推進により、低炭素社会づくりの取組みを持続・定着。

